

【一】 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

その気持ち、なんていう？ プロに学ぶ感情の伝え方 国語辞典編纂者 へんさん 飯間浩明

問一、二十傍線部 a ～ d のカタカナを漢字で、漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問二、傍線部①「誤解」について、次の(1)(2)に答えなさい。

- (1) 同じ意味で使われている言葉を文章中から二箇所、それぞれ七字で書き抜きなさい。
- (2) 後の資料は、SNS上でのトラブル経験の内容である。「誤解」と同じ内容にあたる部分を、表中から抜き出しなさい。

(3)

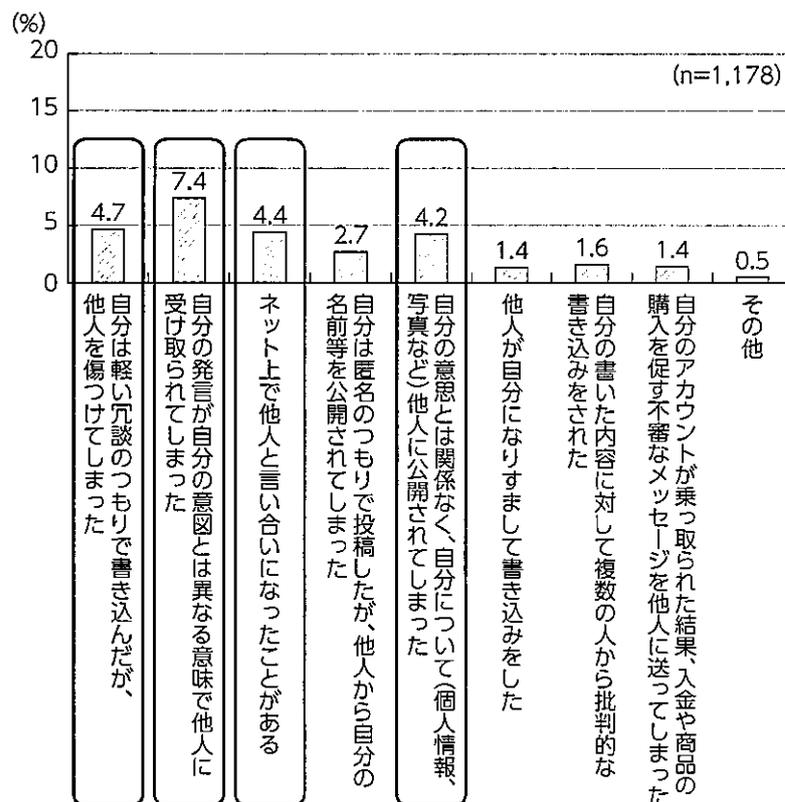
「誤解」が生じないようにするにはどうすればよいと筆者は言っていますか。本文中から八字で抜き出してください。

平成 27年版 情報通信白書 特集テーマ 「ICT の過去・現在・未来」

本編第 2 部 第 4 章くらしの未来と ICT

第 2 節 ソーシャルメディアの普及がもたらす変化

図表 4-2-2-7 SNS 上でのトラブル経験の内容



(出典) 総務省「社会課題解決のための新たな ICT サービス・技術への人々の意識に関する調査研究」(平成 27 年)

問三、傍線部②「肝に（ ）」とある。

(1) ()に当てはまる語句をひらがなで書きなさい。

(2) その意味として、次の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、心に留める

イ、我慢する

ウ、思い込む

エ、決心する

問四、傍線部③「それぞれの人に、その人自身の言葉がある」という多様性を理解するにはどうすればよいか。いくつ

か方法があります。とあるが、その方法についてそれぞれ二十字、九字で、「こと」に続くように書きなさい。

問五、本文中の④には全て同じ語句が入る。最も適当な語句を五字で書きなさい。

問六、傍線⑤「ら抜き言葉」について、

(1) 文化庁「言葉遣いに関すること」からの引用の()に当てはまる語句として、最も適当なものを、次の中から一

つ選び記号を書きなさい。

ア、可能

イ、自発

ウ、尊敬

エ、受け身

いわゆる「ら抜き言葉」とは()の意味の「見られる」「来られる」等を「見れる」「来れる」のように言う言い方のことで、話し言葉の世界では、昭和初期から現れ、戦後更に増加したものである。

引用：文化庁
「言葉遣いに関すること」

(2)「ら抜き言葉」と言われるものを、次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、切れる

イ、売れる

ウ、書ける

エ、考えれる

問七、傍線部⑥「仕事でミスをして、取引先におわびをしなければならなくなりました。きちんと気持ちを伝えるためには、

どうすればいいか」とある。その答えにあたる部分を、本文中から抜き出し、初めの五字を書きなさい。(句読点を含む)

問八、傍線部⑦「言いたいことを相手に伝えるためには、語彙力だけでは不十分なのです」とあるが、どのようにすればよいか。その方法について、本文中から十九字、二十七字で書き抜きなさい。

問九、傍線部⑧「夏目漱石や芥川龍之介の小説」について、次のア～エからそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

(1)夏目漱石の作品

ア、坊ちゃん

イ、伊豆の踊子

ウ、暗夜行路

エ、山椒魚

(2)芥川龍之介の作品

ア、人間失格

イ、友情

ウ、蜘蛛の糸

エ、注文の多い料理店

問十、

⑨

に当てはまる言葉として、次の中から最も適当なものを一つ選び、そ

の記号を書きなさい。

- ア、教科書的な言葉さえしっかり使えば、語彙力を超えて伝わる
- イ、あらゆる場面に通用する言葉のルールを身に付けていればよい
- ウ、その時々には思いつく言葉が、何より相手に伝わる
- エ、多くの言葉を費やさなくても伝わる瞬間がある